

第 7 回会議（令和 6 年 5 月 9 日）について

第 7 回会議では、第 6 回会議で出された意見を踏まえつつ、全体の方向性やスケジュール等について意見交換を行います。

1 第 6 回会議の協議結果等について（議事録から抜粋）

(1) 進めるべき基本方針案

① 羽生北小学校、川俣小学校を再編成する。

- ・地区説明会については他の再編成案の進捗状況により実施する。
- ・基本方針策定後、羽生北小学校、川俣小学校再編成準備委員会を組織し、具体的な協議を進めて行く。

② 学区を再検討する。

- ・基本方針により再編成を行う場合は、通学区域を設定した上で、学区が隣接する小学校に通学を希望する保護者、児童がいるときは、これに応じるようにする。
- ・学区が隣接する小学校への通学は、保護者が責任をもって行う。

(2) 新郷第一小学校の再編成に対する意見

① 新郷第一小を残し、隣接する地区の学区を再編成する。

② 新郷第一小と羽生北小を再編成する。

③ 新郷第一小と岩瀬小を再編成する。

④ 岩瀬小を分け、中学校区に合わせて須影小、羽生南小、新郷第一小に再編成する。

(3) 新郷第二小学校の再編成に対する意見

① 新郷第二小は、岩瀬小と須影小に再編成する。

ただし、地域の意見を聞いて判断した方が良い。

② 新郷第二小と須影小の再編成のため、羽生南小の学区を再編成する。

③ 新郷第二小の再編成は当面見合わせ、羽生南小、岩瀬小、須影小の学区の再編成を先に進める。

ただし、自治会や子ども会の関係もあり難しいかも知れない。

(4) 児童生徒数の将来推計について（資料 2）

① 国立社会保障・人口問題研究所「地域別将来推計人口」による 2035（R17）学校別児童数は、2019（R11）の全児童数から各学校の児童数の割合を基に算出した。

② 住宅開発による人口増見込み

岩瀬土地区画整理事業や一般住宅開発による流入人口増も見込まれるが、地区によっては減少数も多いため、今回の児童数推計には反映していない。

(5) スクールバスについて

- ① スクールバスは、再編成により通学距離が 2km を超えてくる場合を目安として協議することが想定される。
- ② 今後は、運転士不足により運行台数の制限が懸念される。
羽生東小学校のスクールバスにおいても、運転士の人員確保が難しいことを理由に辞退する事業者が多かった。
- ③ スクールバス運行経費見込み
 - ・小型バス 1 台（29 人乗り） 1 年間で約 1,020 万円
※羽生東小スクールバス実績を参照
 - ・大型バス 1 台（53 人乗り） 1 年間で約 1,583 万円
※国土交通省公示による貸切バス料金を参照

2 新郷第一小学校と新郷第二小学校に係る再編成について

両校の再編成に対する意見について、それぞれ課題を踏まえ、協議していただきます。

【新郷第二小学校の再編成に対する意見】

(1) 新郷第二小は、岩瀬小と須影小に再編成する。

附帯意見として、地域の意見を聞いてから判断した方が良いとの意見がある。

○令和11年度の児童数見込み(以下同じ。)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
岩瀬小	44	51	54	42	60	37	288
新郷第二小 (下新田)	7	7	8	3	8	4	37
合計	51	58	62	45	68	41	325
クラス数	2	2	2	2	2	2	12

※岩瀬小の収容可能学級数:15

収容可能学級数には、特別支援学級を含む。以下同じ。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
須影小	43	42	39	40	57	61	282
新郷第二小 (下新郷)	9	15	17	13	6	15	75
合計	52	57	56	53	63	76	357
クラス数	2	2	2	2	2	3	13

※須影小の収容可能学級数:14

(2) 新郷第二小と須影小の再編成のため、羽生南小の学区を再編成する。

附帯意見として、自治会や子ども会の関係から難しいかも知れないとの意見がある。

○羽生南小から2km圏内の地区を学区に含めた場合

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
羽生南小	34	36	45	30	48	45	238
下羽生	1	0	4	1	0	5	11
秀安	2	0	3	1	2	1	9
加羽ヶ崎	1	0	1	0	1	2	5
合計	38	36	53	32	51	53	263
クラス数	2	2	2	1	2	2	11

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
須影小	39	42	31	38	54	53	257
新郷第二小	16	22	25	16	14	19	112
合計	55	64	56	54	68	72	369
クラス数	2	2	2	2	2	3	13

※須影小の収容可能学級数:14

※羽生南小学校区の変更前と比べ、須影小5年生が1クラス減少する。

(3) 新郷第二小の再編成は当面見合わせ、羽生南小、岩瀬小、須影小の学区の再編成を先に進める。

※いつまで当面の間とするか、基準について検討が必要となる。

※再編成対象校の検討は別に必要である。

【新郷第一小学校の再編成に対する意見】

(1) 新郷第一小を残し、隣接する地区の学区を再編成する。

○新郷第一小から2km圏内の地区を学区に含めた場合

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
新郷第一小	13	8	16	12	10	9	68
上岩瀬	6	7	7	12	19	10	61
桑崎	2	3	5	3	4	1	18
小須賀	0	3	0	1	4	3	11
合計	21	21	28	28	37	23	158
クラス数	1	1	1	1	2	1	7

※新郷第一小の収容可能学級数:14

(2) 新郷第一小と羽生北小を再編成する。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
羽生北小	39	46	48	38	58	63	292
川俣小	23	16	21	16	24	21	121
小計	62	62	69	54	82	84	413
新郷第一小	13	8	16	12	10	9	68
合計	75	70	85	66	92	93	481
クラス数	3	2	3	2	3	3	16

※羽生北小の収容可能学級数:23

(3) 新郷第一小と岩瀬小を再編成する。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
岩瀬小	44	51	54	42	60	37	288
新郷第一小	13	8	16	12	10	9	68
合計	57	59	70	54	70	46	356
クラス数	2	2	2	2	2	2	12

※岩瀬小の収容可能学級数:15

※中学校区は、西中学校区と南中学校区に分かれる。

(4) 岩瀬小を分け、中学校区に合わせて須影小、羽生南小、新郷第一小に再編成する。

※須影小学校と新郷第二小学校の再編成の案もあり、収容可能学級数から、困難が予想される。

3 今後のスケジュールについて

- ・令和6年度は、会議を5回程度予定しています。

年 月	内 容
令和6年 5月	第1回会議（基本方針案の検討）
7月	第2回会議（基本方針案の検討）
8月	保護者アンケート等
9月	第3回会議（基本方針案の検討）
11月	第4回会議（基本方針案を教育委員会に答申）
令和7年 1月	パブリック・コメント、地区説明会
2月	第5回会議
3月	基本方針の策定、公表